19. 船員労働の概況

〔1〕 船員の最低賃金の概要

令和元年度、国土交通大臣決定の最低賃金は、遠洋まぐろ、大型いか釣りを除く業種が諮問され、改正が行われた。

九州運輸局長決定の最低賃金は、4業種全てについて、令和元年8月15日に諮問され、改正に向けての作業が進められている。

(1) 内航鋼船及び木船運航業最低賃金(月額)

表－3

賃金額／適用地域	最低賃金					効力発生年月日
	職員	(注)若年船員	はしけ長	部員	海上経験3年未満の部員	
	円	円	円	円	円	
全国	249,550	233,100	—	190,950	181,650	R2.1.17
九州運輸局	248,450	232,000	248,450	189,850	180,550	R1.5.12

(注) 若年船員　船舶職員養成施設のうち特定の養成施設の課程を修了した後の勤務期間が、当該課程ごとに定める期間に満たない者

(2) 海上旅客運送業最低賃金(月額)

表－4

賃金額／適用地域	最低賃金		効力発生年月日
	職員	部員	
	円	円	
全国	246,450 事務部職員 192,350	185,000	R2.1.17
九州運輸局	243,650	176,010	R1.5.12

(3) 漁業最低賃金(月額)

表－5

賃金額／適用地域	最低賃金(一人歩船員)					効力発生年月日
	遠洋まぐろ	大型いか釣り	沖合底びき網	大中型まき網	特例地区	
	円	円	円	円	円	
全国	199,300	203,300	—	—	—	H26.12.20
九州運輸局	—	—	185,000	195,000	180,500	R1.5.12

※大中型まき網特例地区　大分県

〔2〕 船員職業安定業務の概要

(1) 求人概要

平成30年の新規求人数は、2,009人で全国の11,015人に対し、18.2%となっている。

新規求人2,009人のうち船種別求人状況は、外航部門0人、内航部門(旅客船その他を含む。)1,887人、漁船部門122人となっている。

(2) 求職概要

平成30年の新規求職数は、1,351人で全国の4,144人に対し、32.6%となっている。

新規求職1,351人のうち船種別求職状況は、外航部門11人、内航部門(旅客船その他を含む。)1,315人、漁船部門25人となっている。

(3) 成立状況

平成30年の成立件数は、232件で全国の1,051件に対し、22.1%となっている。

成立件数232件のうち船種別成立状況は、外航部門0件、内航部門(旅客船その他を含む。)226件、漁船部門6件となっている。

なお、就職の成立が不調に終わる原因は、①若年層及び中堅職員の求人に対し、求職者の高齢化(求職者のうち、53.7%が50歳以上の船員)、②労働条件(賃金、雇用期間等)の相違、③雇用条件(海技資格・経験等)のミスマッチ、等がある。

船員職業紹介実績は表－6のとおりである。

表－6　　(平成30年)

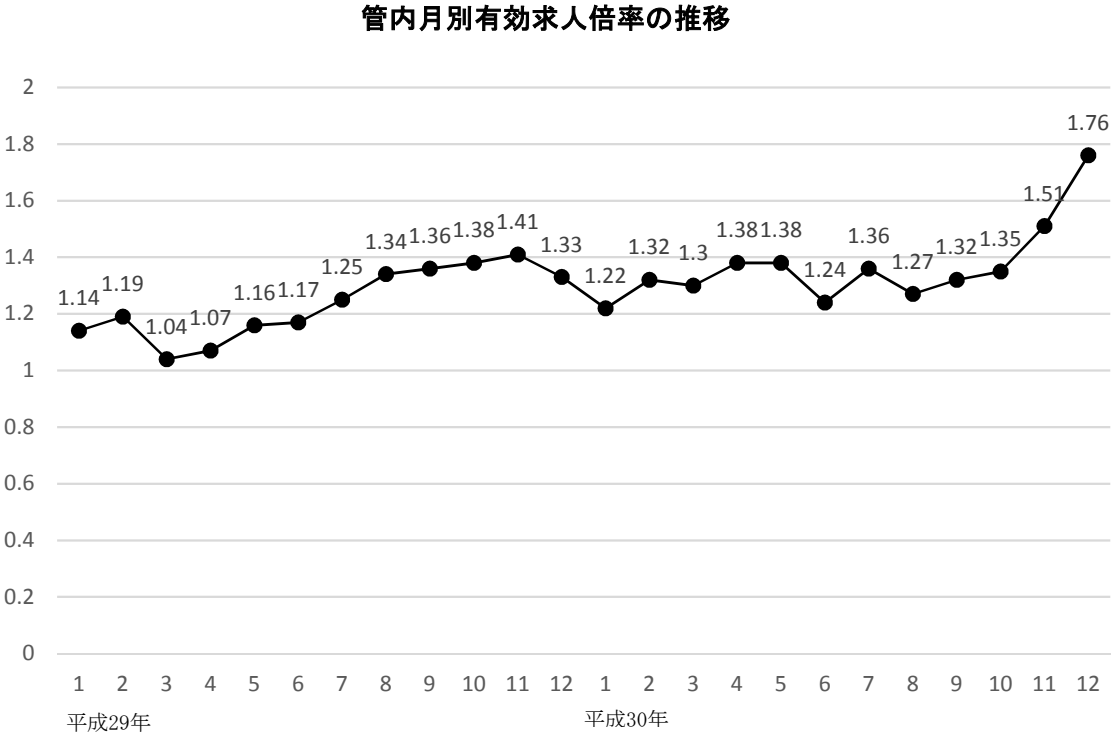
区分 / 局別	新規求人申込数(人)	新規求職申込数(人)	成立数(件)
本　局	188	180	21
福　岡	131	49	16
若　松	236	36	11
長　崎	333	238	18
佐世保	131	131	37
熊　本	291	136	55
大　分	240	147	28
宮　崎	22	181	8
鹿児島	198	171	16
下　関	239	82	22
計	**2,009**	**1,351**	**232**

(4) 有効求人倍率概要

平成30年末の有効求人倍率は、1.76倍であった。(有効求人倍率月別推移は表－7のとおりである。)

全国は2.80倍で管内の有効求人倍率より1.04ポイント高くなっている。これは、管内の九州・山口地区においては、伝統的に全国船員の供給地であることから求職者が多く、有効求人倍率は全国より低くなっているためである。

表－7



(5) 船員失業保険金支給概要

平成30年における雇用保険の失業等給付の支給延件数は、698件で全国の2,108件に対し、33.1%となっている。船種別では、商船が659件、漁船が39件となっている。

なお、失業等給付の給付金は、概ね9千5百万円で、全国の2億8千万円に対し33.1%となっており、受給者実数は591人で、全国の1,767人に対し33.4%となっている。

船員失業保険金支給実績は表－8のとおりである。

表－8　　(平成30年)

区分／局別	受給者実数(人)	支給件数(件)	支給金額(円)
本　局	26	34	3,809,634
福　岡	9	10	1,071,768
若　松	23	26	3,723,623
長　崎	62	77	9,682,363
佐世保	75	85	11,374,398
熊　本	126	148	19,616,215
大　分	82	96	15,348,380
宮　崎	71	78	9,137,948
鹿児島	63	76	10,404,101
下　関	54	68	11,304,697
計	**591**	**698**	**95,473,127**

〔3〕 海技者セミナーの概要

令和元年6月18日福岡市において、船員の雇用の促進を図り、求人者と求職者を一同に集め企業説明や就職面接を集中的かつ効率的に行うことを目的とした「めざせ!海技者セミナー in FUKUOKA」を開催した。

海技者セミナーは、平成17年度の「船員就業フェア」から始まり、名称を「海へのチャレンジフェア」、「めざせ！技者セミナー」と変えて今回で15回日となる。企業ブースの他に海技資格等の相談コーナーを設置し開催している。

当日は海運事業者35者と267名の海上技術学校生や水産系高校生等の参加があった。船員不足解消の方策として、このセミナーがより多くの若者の就職につながることが望まれている。

開催状況は表－9のとおりてある。

表－9

回　数	年度	参加企業数(社)	参加者数(人)		
			学　生	一　般	計
1	H17	20	29	35	64
5	H21	20	96	30	126
9	H25	24	139	28	167
10	H26	25	175	27	202
11	H27	24	187	43	230
12	H28	35	196	38	234
13	H29	38	206	55	261
14	H30	41	197	45	242
15	R1	35	227	40	267

(注)学生は、海上技術学校、水産系高佼、商船系高等専門学校、海上技術短期大学校、水産大学校等の在校生である。